

北朝鮮による日本人拉致問題に関する政府主催の「中学生サミット」に出席した全国の中学生が9日、問題への関心を高める広報啓発動画の原案作りに取り組んだ。北朝鮮に拉致された横田めぐみさん（失踪当時13）の弟で、拉致被害者家族会の横田拓也代表から、早期帰国実現へ声を上げた。中学生はグループに分かれてキャッチコピーなどを考案。短時間の劇にまとめ発表し合った。政府は原案を基に動画を完成させ、12月にインターネット上で公開する。

川崎市立王禅寺中央中3年の大村智哉さん（15）は取

日本人拉致問題に関する「中学生サミット」で広報啓発動画の原案作りをする中学生ら＝9日午後、東京都台東区



拉致問題 関心持って

中学生サミット 啓発動画を作成

材に「去年初めて問題を知った。周りに知っている人が少ない現状はとても深刻だ」と危機感を示した。神戸市立須佐野中3年の上田崇知さん（14）は「学校に帰ってサミットについて全校生徒に詳しく伝えたい」と話した。

拉致被害者から直接話を聞いた経験があるという福井県小浜市立小浜第二中1年の中山栞音さん（12）は「帰国を待っている人がいる。私たちが一刻も早く動いて帰国させないといけない」と強調した。

▲ 8月10日 福島民友新聞掲載

5W1Hを読み解こう

記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。（330字程度）

いつ
(When)

どこで
(Where)

だれが
(Who)

なにを
(What)

今後、どのよう
に発信？
(How)

なぜ
どうして
(Why)

拉致被害者の家族の方々はどうな思いでいるのか、考えるきっかけにしたいですね。



「ジュニア窓」にようこそ

福島民友投稿のページ「窓」に送る